

国際ソロプチミスト洞爺湖が植樹 今年はヤエザクラ20本

5月23日、国際ソロプチミスト洞爺湖（越後節子会長）の春の植樹会が、オートキャンプ場「グリーンステイ洞爺湖」で行われました。

同会が毎年春に開催している恒例の植樹会は、今年で11回目を数えます。当日は小雨の中、長崎町長とともにヤエザクラ20本を植えました。

会員のみなさんは、「湿り気があつて、こういう日の方が植樹に向いてる」とあいにくの雨模様にも、笑顔で一本一本ていねいに植樹を行いました。



恒例の春の植樹会

ト洞爺湖（越後節子会長）

の春の植樹会が、オートキャンプ場「グリーンステイ洞爺湖」

で行われました。

同会が毎年春に開催している恒例の植樹会は、今年で11回目

を数えます。当日は小雨の中、長崎町長とともにヤエザクラ20本を植えました。

会員のみなさんは、「湿り気があつて、こういう日の方が植樹に向いてる」とあいにくの雨模様にも、笑顔で一本一本ていねいに植樹を行いました。

癒しの効果を狙い 協会病院内で田植え作業

5月26日、初夏を思わせるような好天に恵まれた午前10時過ぎより、洞爺協会病院の中庭で、ミノ姿の後藤院長とともにペラの看護士さんが登場し、患者さんらと共に田植えが行われました。

この田植えは、昨年に続き2回目の行事で各階のベランダから多くの患者さんらが興味深く見守っていました。

苗は壮瞥町の農家から寄贈された「きらら」。庭にある花壇を利用して、約300本の苗を植えました。



伝統的格好も癒し効果?

うな好天に恵まれた午前10時過ぎより、洞爺協会病院の中庭で、ミノ姿の後藤院長とともにペラの看護士さんが登場し、患者さんらと共に田植えが行われました。

早くも「ハマナスこまち」との名があり、秋の収穫まで待ち切れないようでした。

ベンチプレスの全道大会 川越さん100kg挙げて全道

○おうちのわたり○

社会貢献に宮崎さん叙勲受章



賞状を受け取る宮崎さん

危険業務従事者叙勲（瑞宝章光章）に、町内から宮崎孝男さん（温泉8区）が受章され、6月7日役場でその伝達式が行されました。

宮崎さんは、昭和35年に消防に入り、平成6年の退職までの34年間の永きに亘って、地域住民の安全を守るため奮闘。特に昭和52年の有珠山噴火の際には、温泉支署長として陣頭指揮をとり、地区住民へのパニック防止の広報活動、避難誘導や避難者のピストン輸送など、防災活動に傾注しました。

われました。

この叙勲は、危険性の高い業務に精励し、自己を犠牲にして社会に貢献した人に対して贈られるものです。

宮崎さんは、昭和35年に消防に入り、平成6年の退職までの34年間の永きに亘って、地域住民の安全を守るため奮闘。特に昭和52年の有珠山噴火の際には、温泉支署長として陣頭指揮をとり、地区住民へのパニック防止の広報活動、避難誘導や避難者のピストン輸送など、防災活動に傾注しました。



優勝メダルを手にする川越さん

（4区）が、60kg級で100kgのバーベルを挙げて優勝しました。

昨年の11月に協会に入り、本格的に活動を開始。「記録が伸びて、パワーがついでいくのを実感」し、競技の楽しさを知ったそうです。

「仲間を作り、競技を広め、町内に施設を作ること」が、今後の目標とのことでした。

「年齢に関係なく取り組めて、美容と健康増進に最適」と会員を募っています。興味のある方は「くまや」☎76-2645まで。

第1回北海道春季ノーギアベントチプレス選手権大会（主催北海道パワーリフティング協会）が、5月22日苫小牧市で開催され、苦小牧パワーリフティング協会支部長の川越和彦さん